

## 本陣楽座 落語会 —桂春団治襲名記念特別版—

申・問 史跡草津宿本陣(草津一、☎・FAX561-6636)

今春、落語界の大名跡を襲名されたばかりの四代目桂春団治さんの落語をお楽しみください!

演者 桂春団治さん  
笑福亭右喬さん  
笑福亭飛梅さん

🕒 12月1日(土)  
14:00~15:30

📍 道灌蔵(草津三)

👤 100人(先着順)

💰 600円

📅 当日まで



## 豪華な衣装で優雅な時間を 大名・姫 衣装体験

申・問 史跡草津宿本陣(草津一、☎・FAX561-6636)

豪華な着物で写真を撮ってみませんか。豪華コースと、打掛を羽織るだけの簡単コース(姫のみ)があります

🕒 11月25日(日)  
10:30~15:30  
※30分程度

📍 史跡草津宿本陣

👤 身長145cm以上の人

👤 12人(先着順)

💰 豪華コース500円、  
簡単コース200円  
※入館料別途要

👕 襟のない服を着用  
・白い靴下とカメラ  
を持参

📅 当日まで



▲撮影した写真を平成最後の年賀状に使ってみませんか?(写真は簡単コースの場合)

## くさつ 歴史ギャラリー 134

問 草津宿街道交流館  
(草津三、☎567-0030、FAX567-0031)

### 天保9年大福帳 秋葉山御撫物 ～草津宿本陣のちょっと変わったお客さま～

史跡草津宿本陣は、大名や幕府の役人、公家など限られた人々のために設けられた休泊施設です。約240年間にわたって、多くの人々を迎え入れた本陣には、利用客をはじめ、本陣の経営などについて記した大福帳が残されています。

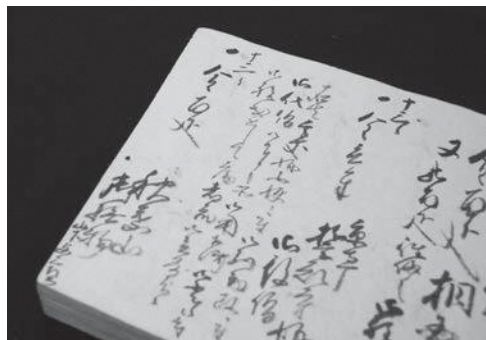
この大福帳に記録されている本陣の利用客は、人だけではありません。1838(天保9)年の大福帳には、「秋葉山御撫物」の休泊記録があります。「秋葉山」とは、静岡県浜松市の秋葉山に位置する秋葉神社・秋葉寺のことで、火伏の神として江戸時代以降に広く信仰を集めました。「御撫物」とは、罪・穢などを取り去るための道具のことです。

江戸時代、秋葉山は京都御所を守護するための祈禱で使われる御撫物を朝廷に献上していました。静岡の秋葉山から京都の御所まで、御撫物を運ぶ際に草津宿を通過します。実際、大福帳に残る「秋葉山御撫物」の記録を見ると、1814(文化11)年に初めて登場し、その後も年に数回、草津宿を通行していることがわかります。

天皇のために用いられる御撫物は、丁重に扱われ、

大名や公家など位の高い人しか利用できない本陣を利用することができました。運搬の際は、錠前のついた箱に厳重に保管され、御撫物そのものを直接取り扱う人は限られていたと考えられます。御撫物は一般的に人形や衣類だとされていますが、本陣に宿泊した御撫物が一体何であったのかは、今もわかりません。

草津宿街道交流館では、11月25日(日)まで、草津宿を往来した変わった利用客を紹介するテーマ展「草津宿珍客往来」を開催しています。こちらの大福帳も展示しているので、ぜひお越しください。



▲大福帳

9月30日現在(対前月比) 人口133,667人(+21) 男67,112人(+1) 女66,555人(+20) 世帯数58,200世帯(+37)



広報くさつ・くさつ市議会だよりは、スマートフォン用アプリでも配信中



マチイロ



SideBooks  
(ちいき本棚)